

2年2組「特別の教科 道徳」学習指導略案

1 主題名 「自分とちがっても」C-1(11) 公正、公平、社会正義

2 教材名 「およげないりすさん」(出典：光村図書「どうとく2 きみがいちばんひかるとき」)

3 ねらいとする価値について

人は、自分と異なる考え方や感じ方、多数でない立場や意見に対し、偏った見方をすることがある。自分と同質の考え方のみを受け入れ、異質なものを否定する傾向は、人のもつ弱さともいえる。そうした人間の弱さを克服し、公正、公平に人と関わっていかうとする態度を育てることが重要である。自分とは異なる個性をもつ友達を避けたり、遠ざけたりするのではなく、互いの違いを理解し、認め合うことで、異なる個性をもつ友達と仲良くすることの楽しさや、助け合うことの大切さについて考える。

4 本時の展開

○ねらい 一人一人が、誰に対しても、分け隔てなく公正、公平に接する心情を育てる。

	学習活動(○発問、☆中心発問)と児童の反応(・)	◇指導上の留意点 ※評価
導入	<p>1. 理由をつけて、誰かを仲間外れにしてしまったことはないか、出し合う。</p> <p>○あなたは、誰とでも仲良くできているかな。</p> <p>・鬼ごっこに「入れて」と言われたけど、他のクラスの子は入れてあげなかった。</p> <p>・遊んでいたとき、「入れて」と言われたけど、「人数がいっぱいだからだめ」と言って断った。</p>	<p>◇仲間外れにしたという意識がなかったり、悪いことをしたという意識があったりすると、発言しにくい。一人一人が振り返ることができればよいので、挙手させるだけでもよい。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 自分とちがうところがあってもなかよくすることの大切さについて、考えましょう。 </div>	
展開	<p>2. 「およげないりすさん」を読み、話し合う。</p> <p>①島で遊んでいても、ちっとも楽しくない3匹は、どんな話をしたでしょう。演じてみましょう。</p> <p>・りすさんのことが気になって楽しくないよ。</p> <p>・りすさんは、嫌な気持ちかもしれないね。</p> <p>・泳げないからって仲間外れはよくなかったな。</p> <p>・りすさんもいっしょに遊べる方法はないかな。</p> <p>②☆かめさんの背中に乗ったりりすさんの様子に、3匹は、どんなことを思ったでしょう。</p> <p>・<自分を中心に>いっしょに遊べる方法を思いついてよかった、今日は楽しく遊べるぞ。</p> <p>・<りすやみんなを中心に>りすさんの気持ちを考えなくてごめんね。</p> <p>・<りすやみんなを中心に>みんな、うれしそうだからよかったな。</p> <p>・<価値を中心に>仲間外れをせず、みんなで仲良く遊べると気持ちがすっきりする。</p>	<p>◇役割演技の活動に入る前に、あひる、かめ、白鳥が、「泳げない」という理由で、りすを仲間に入れなかった状況を確認する。また、「『泳げないから、だめ。』と言われたりすさんはどんなことを思ったでしょう。」と補助発問をし、仲間外れにされたりすの気持ちを想像させてから活動することも考えられる。</p> <p>◇教材文には、それぞれの思いは描かれていないので、①の役割演技で考えたことや挿絵などから想像させる。</p> <p>◇幾つかの見方を立てて児童の反応を予測し、児童の発言で足りない見方があったときなど、多様な考えを引き出すための追発問などをする。</p>
終末	<p>3. 「いやな気持ちかもしれないよ」を読み、みんなの気持ちを大切にすることについて考える。</p> <p>○いじめているつもりがなくても、相手を傷つけてしまうことはありませんか。</p>	<p>※これまでの自分を振り返り、悪気のある・なしに関係なく、自分の言動が友達を嫌な気持ちにさせていることはないか、生活の中で気にかけていくよう確認し合う。【ワークシート・発言】</p>